



図書館へ、出かけませんか

図書館は、だれでも自由に利用できる空間です。本などの図書資料はもちろん、CDやVTRなどの視聴覚資料もたくさんあります。また、大きな活字の活字本も、利用できます。梅雨のシーズンに入り、外出はおっくうになりがちですが、ゆったりとした空間で充実のひとときを過ごしませんか。

お知らせ

開館時間を延長します
中央・東の両図書館では、みなさんから要望のありました開館時間の延長について、試験的に7・8月の平日2時間延長し、午後8時まで開館します。ぜひご家族で、お出かけください。

自宅で、蔵書の検索ができます
図書館では、図書館情報のIT化を進めており、7月からは自宅のパソコンで、図書館の蔵書が検索できるよう準備しています。これからは、自宅で図書館の本が確認できます。

名画(複製)で部屋の模様替えを
東図書館では、ゴッホの「ひまわり」やモネの「睡蓮」など名画の複製画も貸し出しています。複製画は150点ほどありますが、たいへん盛況です。たまには、部屋の模様替えに利用してみませんか。

紙芝居用の舞台貸し出し
子どもは、紙芝居大好き。せっかく紙芝居を借りるなら、紙芝居用舞台を借りて本格的に演出しませんか。きっと、お子さんに喜ばれますよ。

広聴 市長と21世紀を語ろう

第20回「中心市街地の活性化」

市街地の活性化について

木曾川には昔自然がいっぱいあった。しかし、あの水害により護岸堤防ができて以来、川の景色が一変してしまっただ。中山道太田宿を観光の目玉といても、なんだか将来はみえてこない。

中山道会館の建設予定地には、今桜が植えてあります。将来、子どもたちが大きくなったとき会館前に咲く桜を楽しみたいと思う。

市長 来市された人に聞くと、駅前大通りについては良い印象を、聞くのですが...

なんだか、夜も歩いていて、寂しい街のような気がします。

確か駅前の再開発は、20年ほど前と記憶しています。街づくりに対する市民の意識もあまり高くない、当時は、大変だったと思います。



当時は、確か大型店が1店だけで、専門店がなかったから共存共栄できたと思う。

年配の人と話したとき、「新しい大型店はあまり行きたくない。あまり広すぎて、どこに何があるのかわからない。それに、大型店は郊外にあり一人で行くことは大変」と話

広聴 市長と21世紀を語ろう

テーマは「地球にやさしいリサイクル」です。

みなさんの応募をお待ちします。

とき	6月28日(木) 午後2時30分から
ところ	市民サロン (中央公民館)
定員	10人(先着順)
申込み	6月22日(金)までに 総合政策課広報係へ 直接または電話で

総合政策課 内線 241

していたことを思い出します。年配者にしてみれば、買い物のがしやすしい馴染みのお店の方が安気のお店です。町中に、年配者が集まれる場所があれば、住みやすくなるのではないのでしょうか。郊外の大型店にみんな行くようになれば、町中の店は大型店も含め共倒れになってしまふと思います。今こそ、町中の経営者が将来について真剣に話し合う場を設けないといけないのでは。

市長 人が集まるのを分散するからこそ町全体が生きてくるのではないか。最近の「街づくり」は、庁舎も含め公共施設を郊外に集中する都市が多いが、私は人が集まる施設は分散型に配置したほうが町全体に良いと思う。

お店の経営者も、年を取ってからお店を続けることが大変になってきたら、屋号だけを残し、若い人たちに安く場所を提供してあげれば、人が集まり町が活気づくのではないか。自分が住みたい町は何かを考えて行くべきだと思う。

駅の乗降客は、少なくとも増えていくが、それでも中年の夫婦でゆっくり買い物をして列車で家路につく人も見受けられる。

昼間人口が多い都市は、県内では少ないと思う。商業だけで活性化しようとするのは無理だと思う。工業なども含めた活性化対策を講じないといけないのではないか。

牧野地区を例に取ると、工業団地ができたおかげで、人も多くなり飲食店などのお店も増えてきたと思う。好循環が起きている。